

博士課程後期課程演習単位修得認定試験に係る資料作成に関する申合せ

(平成20年2月12日 制定)
最終改正 令和4年3月7日

博士課程後期課程演習単位修得認定試験細則第2条第5項に定める、資料作成の詳細については、本申合せの定めるところによる。

1. 提出資料

- (1) 研究経過報告書
- (2) 博士課程後期課程演習単位修得認定論文（以下「単位修得認定論文」という。）
- (3) 宣誓書

2. 作成要領

- (1) 研究経過報告書

別紙様式1により作成し、提出すること。

- (2) 単位修得認定論文

下記の要領に基づき作成し、提出すること。なお、提出にあたっては、あらかじめ研究指導教員の点検を受け、承認を得ること。

- ① 論文は単著を原則とするが、その一部において自らが主導した共同研究を含めることができる。学位論文の一部とできる共同研究は、課程博士論文における共同研究の取扱いに準ずる。
- ② 単著及び共著の公刊済論文及び公刊予定論文を、学位論文の一部に含める場合、その著作権が出版社、学会等に帰属しているときは、自らの責任において許諾を得ること。
- ③ 日本語又は英語で記述すること。学位論文を母国語以外で記述する場合は、校閲を自らの責任で行うこと。
- ④ 論文は、原則としてワードプロセッサ等を使用すること。
- ⑤ 記載は、縦位置、横書とすること。
- ⑥ 原則として、日本語によるものは50,000字以上、英語によるものは20,000語以上とすること。サイズはA4とし、文字サイズは10ポイントから12ポイントとすること。1頁の文字数は、日本語の場合は概ね、1,000字から1,600字、英語の場合は300語から600語とし、30行から40行とすること。
- ⑦ 表紙には提出年月日、論文題目、所属研究室（所属教員名）、専攻名、学籍番号、氏名を明記すること。また、頁番号は本文1枚目から開始し、1, 2, …のようにアラビア数字を用いること。表紙には頁番号をつけないこと。目次に頁番号はつけてもつけなくても構わないが、つける場合はi, ii, …のようにアラビア数字以外を用い、本文と明確に区別すること。

(3) 宣誓書

所定の様式により作成すること。

附 則

この申合せは、平成20年4月1日より施行する。

附 則

この申合せは、平成24年4月1日より施行する。

附 則

この申合せは、平成27年11月1日より施行する。

附 則

この申合せは、令和4年4月1日より施行する。